



地域研究（欧州）

（6月16日）

EU (European Union) とは

1952年、不倶戴天の敵対関係にあった独仏両国の和解を目的とし、（ ）がヨーロッパの6ヶ国によって設立された。その成功を受け、1958年には（ ）(EEC)と欧州原子力共同体が同じ6ヶ国によって設立された。この3つの共同体のうち、最も重要な役割を果たしていたのは（ ）であるが、1993年11月、（ ）以外の分野でも管轄権を持つようになり、（ ）(EC)と名称が変わった。それと同時にEUが発足し、三つの共同体はその（ ）本目の柱に組み込まれることになった。しかし、（ ）年、欧州石炭・鉄鋼共同体は消滅し、管轄権は（ ）に引き継がれることになった。（ ）年にはECも消滅し、EUに一本化されることになった。なお、（ ）は現在も存続している。

1. EUの様々な側面

現在、EUは、国際機関としては過去に例がないほど高度に発展し、様々な政策を実施しているが、主に以下の側面を有する。

① 域内市場としてのEU

域内市場とは、商品、人、サービス、資本の4つの移動の自由が保障された空間を指す。

EUの前身であるEECとは European Economic Community の略であり、経済分野で活動を行ってきたため、「人」とは（ ）を指す。他方、労働者以外の「人」の移動の自由について、EU (EEC)に権限は与えられていなかったため、加盟国はEU (EEC) の枠外で（ ）を締結した。これによって、人々はパスポートを検査を受けることなく、他の加盟国へ移動できるようになった。なお、EU内では自由に移動し、労働・居住することができるとしても、治安が悪かったり、自国では認められていた権利が保障されていなかったとすれば、（ ）。そのため、EUには「自由、安全および正義の空間」を創設する権限・責務も与えられている。なお、イギリスはシェンゲン協定に加盟していない。また、「自由、安全および正義の空間」にかかる政策の大部分にも参加していない。

東西冷戦終結から約（ ）年が経過した2004年5月、EUには新たに10ヶ国が加盟したが、新加盟国より大量の労働者が押し寄せてくることが懸念された。そのため、新加盟国からの「人」の移動を制限することが認められていたが、現在ではもはや認められない。しかし、イギリスはこの制限の再導入を求めている。

② 関税同盟としてのEU

前述したように、EU内では商品やサービスの移動の自由が保障されている。また、EU加盟国は第3国（日本や米国）との輸出入規則を統一している。このように内部の貿易が自由化され、外部に対しては共通の貿易規則を持つ組織を関税同盟という。これに対し、自由貿易地域は外部に対する規則を統一しない。EECに加盟しない諸国で結成された（ ）は自由貿易地域である。

③ 欧通経済・通貨同盟としてのEU

前述したように、EU内では商品やサービスは自由に流通されなければならないが、加盟国の為替レートが（大きく）変動するとすれば、加盟国間の取引に（大きな）リスクや障害が発生する。そのため、EUは加盟国の通貨を統一している。この通貨を（ ）と呼ぶ。EU法上、加盟国にはその導入が義務づけられているが、実際に導入しているのは（ ）ヶ国である（イギリスは導入していない）。

2. EUの諸機関（統治機構）

前述したように、EUは様々な側面を有するが、その実施に必要な権限（主権）を加盟国から与えられている。つまり、加盟国は政策の実施に必要な立法権や行政権をEUに与えている。これによって加盟国は自らが持っていた権限を手放すことになったが、これを**主権の委譲**と呼ぶ。

EUには以下の機関が設けられており、加盟国から与えられた権限を行使している。

	名称	メンバー	設置場所
司法	EU裁判所	裁判官（各国より1名） 法務官（8名）	ルクセンブルク
立法	EU理事会	各国の閣僚級の代表	ブリュッセル
	欧州議会	EU市民の代表 （各加盟国で選挙を行い 選出）	本拠地：ストラスブール 事務総局：ブリュッセル 事務総局の一部：ルクセンブルク
行政	欧州委員会	各国より1名	ブリュッセル

また、これらの上に立つ最高機関として、欧州理事会が設けられている。同理事会は常任議長、各加盟国の首脳と欧州委員会委員長で構成されるが、立法権限は持たず、EUの政策目標、重要課題や重要な人事等について決定する。

